

子後水尾元和七年辛酉不改元莫知其故以此觀之博士家革命革命之說蓋起於村土時也或曰神武開國以辛酉卽天皇之位故後世亦必以辛酉改元甲子干支之首故亦必改元未知然否

〔茅窓漫錄下〕革命紀元

此邦辛酉甲子の歲運に當るときは必紀元すといふ事兼良公の三革說にも見えたれど何れの御世よりいひ出だし、ことにか日本紀に神武帝辛酉年春正月天皇卽帝位故に辛酉の年必紀元すといふは其理當れり甲子に必改元すといふはいかなる義にか詩緯推度災に戊午革運辛酉革命甲子革政といふに據るにやされども年號定まりて遙か以後にいひ出だし事ならむ大化以前の異年號も始終定かならざれど欽明帝の明要と推古帝の願轉齊明帝の白鳳とのみ辛酉に紀元ありしと見ゆ甲子の紀元は未見えず年號定紀の大寶も辛丑の年に紀元ありて辛酉は改元なし聖武帝の辛酉甲子とは改元ありて桓武帝の甲子と仁明帝の辛酉は改元なし醍醐帝の辛酉は改元ありて甲子はなし村上帝の辛酉應和甲子康保より後柏原帝の文龜永正まで五百四十三年のあいだ辛酉甲子ともに皆改元ありて正親町帝の辛酉甲子はともに改元なし後水尾帝の甲子は改元ありて辛酉はなし靈元帝の天和貞享より當今にいたるまで改元なり然らば辛酉甲子は必改元すといふ定法とも見えず帝王編年紀云延喜二十三年昌泰四年七月十五日改元依辛酉革命老人星也孔雀經御修法記云土御門天皇建仁元年二月廿一日壬寅修孔雀經法于閑院禳辛酉厄建仁元年此等の記を考ふるに神武帝御卽位の辛酉を必定法則とし紀元すとも見えず老人星辛酉厄などいふは緯書佛氏等のいふ説にて人君體元以居正元年を稱する大法にあらず勿論辛酉甲子の改元は漢人定法なき事なり緯書の類はとらず王俊川曰緯書多以二字爲名中略皆異端邪術之流假託聖經以售邪誣之説其書今雖不存而類書引用尙多終惑後學見醉鄉代王者の大義法則を取るの書にあらず改元立號は國家第一の大義にて劉炫曰唯